

05

道路や施設をつくるための土地を
計画に合わせて改良・整備する仕事

上武建設 株式会社

生駒市北大和4-21-2 ☎0743-78-7191 http://www.kamitakekensetsu.co.jp
設立: 1981年4月 従業員数: 159人

最新技術を搭載した大型重機で
街や暮らしの土台をつくります

道路やビル、住宅などを建築するための土地を、ショベルカーやブルドーザーといったいろいろな重機を使って改良・整備するのが土木工事業です。工事の規模はさまざまで、災害に対する予防・復旧の工事も行います。安心して暮らせる地域や街の、土台づくりをする仕事です。



土地の土台づくりってどんな仕事?

高低差や斜面の有無、地盤の強さの違いなど、土地は地域ごとにさまざまな性質を持っています。そのため、道路やビルなどをつくるよりも先に、重機を使って土地そのものを改良・整備し、より安全な環境をつくり上げるのが土地の土台づくりです。



高ければけずり、
低いならうめる

さまざまな重機を使い分けながら、高くなっている所(山)からは土をけずり出し、低くなっている所(谷)には土を入れてうめ立てていきます。

地面を平らにする

けずり出した土や、別の場所から運んできた土を重機でおし動かして、地面を平らにしています。計画によって、水平にしたり斜面にしたりと、処理の仕方はさまざまです。

見学OK!

詳しくはお問い合わせください



どんな重機が使われているの?



土をほる
重機
大きなショベル
で山をけずった
り、地面をほり起こしたりするための重機
です。また、ほった土をダンプカーにのせ
る作業でも使われています。



土を移動す
る重機
ダンプカーと
呼ばれる重機
で、けずったりほったりして出た土や大
きな石などを、別の場所まで一度にたく
さん運ぶことができます。



土をおして
動かす重機
車体の前面に
あるブレード
で、土をおして移動させる重機です。ま
た、土を平らにならして地面の高低差を
なくす作業にも使われます。



地面を固め
る重機
大きくてとて
も重たい、鉄
製のローラーが付いた重機です。この
ローラーで、土を上からふみしめて、地
面をしっかりと固めます。



地下をほる
重機
今いる地面よ
りも、さらに下
の場所にある土をほることができる重機
です。写真の重機の場合、地下20メー
トルまでほることができます。



土を遠くま
で運ぶ重機
ほり起こした
土を遠くの場
所へ運んだり、うめ立てるための土を遠
くから運んでくる場合には、一ばん道路
も走行できるダンプカーを使います。

土木の仕事は進化しています



通信技術などの発達により、工事現場の管理方法や重機の操作方法は進化しています。例えば、広い工事現場の全体や、重機や人がどの場所で作業しているのかも、モニターを通して一目ではあくできます。また、重機の遠く操作や半自動操縦化も進んでいます。

こんな人が働いています

重機オペレーター / 四方山くるみさん

土木工事の現場でダンプカーを運転し、ほった土を運んでいます。現場が少しずつ計画していた通りになっていくのが、とても楽しいです。今は、現場長になることを目指してがんばっています!



欠かせない
ヒミツ道具



ドローン

現場専用のドローンが、測量や確認作業に活かしています。



科学技術や工業技術の発展によって、土木工事の現場はみるみる進化しています。近い未来の工事現場は、さらに安全で、また性別を問わず活やくできる職場になっていることでしょう。機械が好きな人にとっても、きっと楽しい仕事だと思います!